

# 公益社団法人全国学習塾協会など民間教育団体5団体「民間教育団体連絡協議会」設立

## 「子供たちのために存在価値示したい」

公益社団法人全国学習塾協会などの民間教育団体5団体が、未来をつくる子供たちや子供たちの将来のために、それぞれの民間教育の垣根を越え、社会へ貢献・未来の貢献を推進し、その存在価値を高めることを目的に、先日都内で「民間教育団体連絡協議会」を設立。全国学習塾協会の安藤大作会長「写真」が幹事長に選出された。



同協議会は当初、外国語教育振興協会のほか、公益社団法人全国学習塾協会、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、同日本スイミングクラブ協会でスタ

ートし、今後は加盟団体を増やしていく予定。

学校教育との両輪として、これまで大きな役割を担ってきた民間教育は近年、日本の教育の国際化や主体性と創造性をもった未来の人材育成の観点から、その重要性が高まっている。多様化する個人の教育ニーズや社会が要請する有為な人材の育成で、教育サービスを提供するさまざまな民間教育サービスプロバイダーは、今や日本にとって必要不可欠な教育資源。

安藤幹事長は「協議会をつくるのが目的ではない。堂々と一歩前に踏み出して、いろいろな方とつながって、子供たちのために大人の事情を乗り越えていく気概をもって、真剣に教育に向き合って子供たちを未来に送り届ける。子供たちのために存在価値を示していきたい」と力強く語った。